

令和4年度 学校評価報告書

学校番号(小32) 長崎市立(稲佐小)学校

1 教育目標

たくましく未来を切り拓く子どもの育成
 ○いっぱい学ぶ子
 ○なかよく協力する子
 ○さいごまでやり抜く子

2 学校経営方針

子ども・保護者・教職員・地域が誇りに思える学校
 学力を保障する学校
 心を育てる学校
 体を鍛える学校
 地域に生きる学校

3 重点目標

○「特別活動」を要とした学力向上研究の推進
 ○孤立児ゼロシステムの確立と児童の自尊感情の育成
 ○学校・家庭・地域の連携・協働

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	92	93	100	○概ね良好
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	96	93	85	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			79	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			68	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	76	86	58	○概ね良好
		挨拶をよくしている	93	75	75	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	85	83	85	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	92	87	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	96	82	95	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	97	90	95	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	99	93	79	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	98	85	94	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	93	90	100	○概ね良好
		わかりやすい授業を行っている	95	90	100	
	学習指導・教育課程	家庭学習の習慣が身に付いている	92	78	94	
		将来の自立に向けて適切に指導している	83	84	94	
キャリア教育	長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	96				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	99	93	95	○概ね良好
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	91	85	89	
		体力向上に努めている	96	84	84	
	食育	食に関する教育活動を行っている	93	92	95	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	81	88	100	○概ね良好
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	93	87	84	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	96	92	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	91	88	89	○概ね良好
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			85	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○全体的に概ね良好の状態である。昨年度よりも肯定的な割合の値が上がっている項目が多く、稲佐小学校の学校経営方針が保護者・児童に浸透していると考えられる。

○「あいさつ」(保護者75%、教職員75%)についての評価は昨年度よりも向上しているが、保護者・教職員共にやや低い。新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、平時の学習や学校行事を実施することで、地域を教材とした学習、地域の方々との協働が出来るようになり、子どもたちの意識も変わってきた。今後も学校、保護者、地域の3者が手を携えて、あいさつができる児童を育てているけるよう手立てを講じる。

○教職員の評価において、業務改善(68%)は、まだ評価が低い。学校行事の精選や、ICT機器の活用による日頃の校務の効率化を始めとして、校務の大胆な改善を進め、バランスのとれた働きやすい職場環境を実現していく。

6 学校関係者評価

○児童、保護者共に全体的に高い数値が出ており、子どもたちが落ち着いた学校生活を送っていることがわかった。

○交通指導をしているときに、こちらかた挨拶をすれば返してくれるが、自分たちからあいさつをする子は少ない。知らない人には挨拶しにくいのかも。多方、黄色いベストを来て毎週交通指導をしている方にはよく挨拶をしてくれるとのこと。

○コロナ禍が落ち着いたら、現在中止、縮小している地域とふれ合う活動を少しずつ復活させてほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○アンケートの結果については、おおむね肯定的な評価をいただいた。本校の教育方針や教育活動についてよく理解していただいていると考える。

○挨拶については、校外でも挨拶ができる子を育てていきたい。例えば全校集会の時に地域の方に来校していただき挨拶してもらおうなど、地域の方に守られている、支えられているという意識を高めるなどが考えられる。

○今後は、コロナ禍も落ち着いてくると思われるので、昔遊びをはじめとする地域の方との交流を復活させ、児童と地域の方の結びつきを強めていく。